

かしてつ沿線地域公共交通戦略会議

平成21年1月6日設置
平成21年2月24日連携計画策定



概要

- 鹿島鉄道は、19年3月末で廃線となり、旧軌道敷きに平行して走る国道355号を代替バスが運行中である。
- 代替バス利用者は、運行本数の減少や定時性・速達性の低下により、減少傾向がみられる。
- 鹿島鉄道跡地のバス専用道化事業と連動して、バスの実証運行、バスロケーションシステムの導入等を実施し、利用者の増加、沿線地域全体の活性化を遂げることを目標とする。

○バスの実証運行(22年度～23年度)

- ◆JR石岡駅～小川駅を基本に、効果的な運行計画を検証するための実証運行を実施

○利用円滑化事業(21年度～23年度)

- ◆携帯電話・インターネット等を通じたバスロケーションシステムの導入

○利用促進事業(21年度～23年度)

- ◆モビリティ・マネジメントの推進や、利用促進のための検討、PR、イベント活動等

<関連事業(参考)>

- かしてつ跡地バス専用道化事業Ⅰ期工事(21年度～22年度)
 - ・街路事業(石岡市区間)、地域活力基盤創造交付金(小美玉市区間)
- バス停周辺整備(21年度～22年度)
 - ・都市交通システム整備事業

